

# 鳥取県の森林

本県の森林は、県土の約74%に当たる258千haを占めており、木材等の生産だけでなく、県土の保全、水資源のかん養、地球温暖化防止などの多様な機能を有し、県民の生活に重要な役割を果たしています。また、これら森林の公益的機能の価値は、全国で70兆2,638億円、鳥取県では、8,227億円と評価されています。

	全国	鳥取	順位
土地面積(万ha)	3,780	35	41
林野面積(万ha)	2,485	26	33
林野率(%)	67	74	13
民有林面積(万ha)	1,736	23	32
うち人工林面積(万ha)	798	12	31
人工林率(%)	46	54	18
国有林面積(万ha)	770	3	28

平成23年度鳥取県林業統計、平成23年国有林野事業統計書  
平成19年度林野庁森林資源現況調査

## 機能の種類

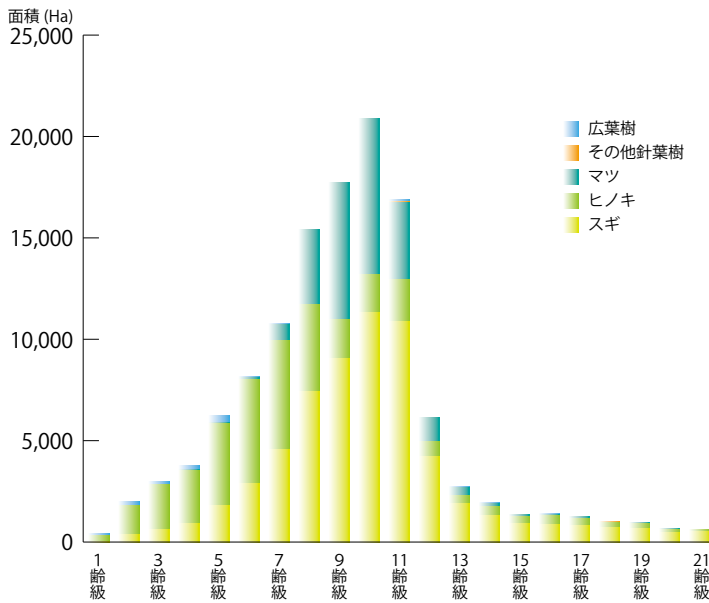
## 評価額

水源かん養	降水の貯留	1,137億円
	洪水の防止	686億円
	水質の浄化	1,485億円
	計	3,308億円
県土の保全	表面侵食防止	3,689億円
	表面崩壊防止	866億円
	計	4,555億円
地球環境保全	二酸化炭素吸収	127億円
	化石燃料代替	11億円
	計	138億円
保健・レクリエーション		226億円
合計		8,227億円

(注)日本学術会議答申「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価について」(平成13年11月)から鳥取県分を試算したもの。

## 民有人工林の齢級別構成

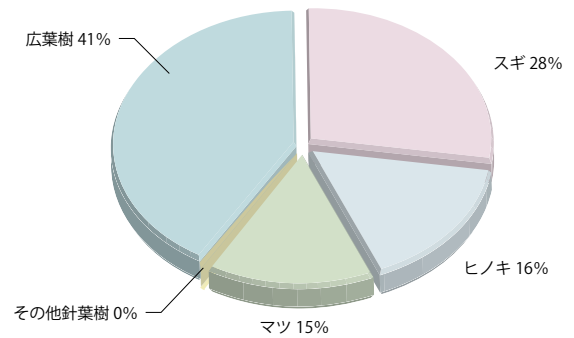
県内の民有林は、約54%が人工林で、そのうち約90%が間伐等の手入れが必要な60年生以下の森林です。



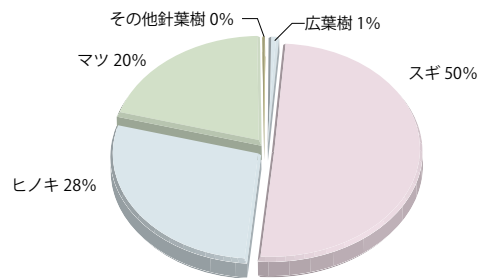
※齢級=5年幅 (例) 1齢級=1~5年生、2齢級=6~10年生

## 樹種別構成

県内の民有林のうちスギが約28%、ヒノキが約16%、マツが約15%、広葉樹が約41%となっています。



### 【参考:人工林の樹種別構成】



## 所有形態別の森林分布

鳥取県の森林は大部分が民有林です。一方、国有林は中国山地の奥地稜線部などに位置しています。

